

第 2 回

熊本県議会

国際スポーツ大会推進特別委員会会議記録

令和元年6月17日

開 会 中

場 所 第 1 委 員 会 室

第 2 回 熊本県議会 国際スポーツ大会推進特別委員会会議記録

令和元年6月17日(月曜日)

午後0時58分開議

午後2時18分閉会

本日の会議に付した事件

- (1) 2019 女子ハンドボール世界選手権
大会熊本開催に関する件
- (2) ラグビーワールドカップ 2019 熊本
開催に関する件
- (3) 東京 2020 オリンピック・パラリン
ピック競技大会に関する件
- (4) 国際スポーツ大会の成功に向けた取
り組みに関する件
- (5) 付託調査事件の閉会中の継続審査に
ついて

出席委員(11人)

委員長 池田和貴
副委員長 淵上陽一
委員 藤川隆夫
委員 城下広作
委員 吉永和世
委員 溝口幸治
委員 西聖一
委員 内野幸喜
委員 高野洋介
委員 橋口海平
委員 松野明美

欠席委員(1人)

委員 松田三郎

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

国際スポーツ大会推進部

部長 寺野慎吾

政策審議監 千田真寿

国際スポーツ大会

推進課長 坂本久敏

国際スポーツ大会

推進課政策監 奥園栄純

知事公室

政策調整監 津川知博

くまモングループ課長 浦田美紀

総務部

首席審議員兼人事課長 小原雅之

私学振興課長 木村和子

企画振興部

地域・文化振興局長 倉光麻里子

企画課長 浦田隆治

地域振興課長 池永淳一

文化企画・世界遺産

推進課長 内藤美恵

健康福祉部

健康福祉政策課長 下山薫

健康危機管理課長 上野一宏

首席審議員兼

障がい者支援課長 永友義孝

環境生活部

首席審議員

兼環境政策課長 横尾徹也

自然保護課長 山下裕史

商工観光労働部

総括審議員兼政策審議監

兼商工政策課長 藤井一恵

観光経済交流局長 小金丸健

観光物産課長 上田哲也

首席審議員兼国際課長 波村多門

農林水産部

首席審議員

兼農林水産政策課長 渡邊泰浩

流通アグリビジネス課長 井上克浩

土木部

政策審議監 藤本正浩

監理課政策調整審議員 久保田健二

都市計画課審議員 弓削真也

教育委員会

教育理事 青 木 政 俊
教育政策課長 上 塚 恭 司
体育保健課長 西 村 浩 二
警察本部
参事官兼警務課長 平 良 俊 司
参事官
兼生活安全企画課長 上 田 栄 治
参事官兼地域課長 木 庭 俊 昭
交通規制課長 原 田 聖 哉
理事官兼警備第二課長 春 日 克 友

事務局職員出席者

政務調査課主幹 西 野 房 代
政務調査課主幹 植 田 晃 史

午後0時58分開議

○池田和貴委員長 ただいまから、第2回国際スポーツ大会推進特別委員会を開催いたします。

委員会の開催に当たり、まず一言御挨拶をさせていただきますと思います。

改めまして、委員長の池田でございます。

この特別委員会も、熊本でラグビーワールドカップが行われることになりまして、設置をされまして、今まで委員の皆さん方も執行部の皆さん方も、この大会を成功させるために、ずっと議論をしていただきました。

いよいよラグビーワールドカップが100日を切ってスタートをし、その後、世界ハンドボール選手権大会が行われ、また次の年には東京オリンピックがということになっております。本当に、いよいよ大詰めになってまいりました。ぜひ、この熊本で開催される大会が成功するように、また次のオリンピックに向けてしっかりと準備ができるように、私も一生懸命頑張っていきたいというふうに思っているところでございます。

どうぞ先生方も、また執行部の皆さん方も、いよいよ最後の最後でございますので、ぜひ気を引き締めて頑張っていましょ

う。

それでは、どうぞよろしくお願い申しあげまして、私の御挨拶にさせていただきますと思います。お世話になります。

副委員長からも、御挨拶をしていただきますと思います。

○淵上陽一副委員長 副委員長の淵上でございます。

大会本番まで、あと数カ月となりました。

池田委員長からもございましたとおり、大会成功に向けて皆様とともに力を合わせて、しっかりと取り組んでまいりたいというふうに思いますので、どうか今後ともよろしくお願い申し上げます。

簡単でございますが、御挨拶にかえさせていただきます。よろしくお祈りいたします。

○池田和貴委員長 続けて、執行部を代表して、国際スポーツ大会推進部長から御挨拶をお願いいたします。

○寺野国際スポーツ大会推進部長 本年度の最初の委員会に当たりまして、執行部を代表いたしまして御挨拶申し上げます。

少し長くなりますので、着座にて失礼します。

○池田和貴委員長 はい、どうぞ。

○寺野国際スポーツ大会推進部長 いよいよラグビーワールドカップ、女子ハンドボール世界選手権大会、2つの国際スポーツ大会の本番が間近に迫ってまいりました。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会につきましても間もなく1年前となることから、着々と準備を進めているところでございます。

ラグビーワールドカップにつきましては、現在チケットの第3次一般販売が行われてお

りますが、これまでのところ熊本で開催される2試合とも、おおむね順調な売れ行きと聞いております。

開幕まであと95日となる中、本県で行われます2試合を、満員のお客様でお迎えできますよう、引き続き万全の準備を進めてまいります。

なお、会場の整備も順調に進んでおりまして、先生方にも御心配いただきました2つ目の大型スクリーンも、今月末には完了する見込みとなっております。

女子ハンドボール世界選手権大会につきましては、今月6日に参加24チーム全てが決まりました。今週末の21日に東京で組み合わせ抽選会が開催され、4つのグループ分けが決まります。

その後、6月末にマッチスケジュールを決定し、これを受けて7月7日から、チケットの一般先着販売を初めチケット販売が本格化します。

また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会につきましては、県内でより多くの事前キャンプ誘致ができますよう、誘致活動に取り組む市町村の支援を行っているところでございます。

聖火リレーの準備も進展しておりまして、今月1日に実施市町村が公表されまして、今後、詳細ルートの調整を進めてまいります。

聖火ランナーにつきましても、来月1日から8月31日までの2カ月間、応募を受け付け、12月以降に決定されることとなっております。

今年度開催されます2つの国際スポーツ大会につきましては、円滑な大会運営、観戦者数目標の達成、レガシーの構築の3つの成果の実現を目指し、取り組みを進めております。

特に観戦者数目標につきましては、ラグビー6万人、ハンドボール30万人を掲げておりまして、この目標達成のためにはさらなる機

運醸成を図っていく必要がございます。

県としましても、バナーやのぼり設置などの都市装飾やカウントダウンイベントなどを実施するなど、広報PR活動などによる盛り上げを加速してまいります。

ハンドボールにつきましては、学校単位などで観戦などを行います一校一国運動の展開を初め、企業、団体などを個別訪問してチケット販促活動を行ったり、国内外から観戦に来られる方々がスムーズに来熊できるよう旅行商品を造成するなど、誘客活動を強化してまいります。

また、熊本を訪れる国内外の観戦客の方々に、熊本に来てよかった、すばらしかったと満足していただけますよう、オール熊本でのおもてなしに取り組んでまいりたいと考えております。

その取り組みの1つとしまして、現在、県内の経済文化団体、商店街などの方々に対し、それぞれの分野でのおもてなしに取り組んでいただくよう、協力をお願いを行っているところでございます。

例えば、熊本市内では中心市街地の商店街が国際交流団体などと連携しまして、飲食店などで利用できる多言語の指差しシートの作成が始まるなど、具体的な動きが出てきております。今後とも大会本番が迫る中、3つの成果を実現し、さらに経済効果の最大化や熊本を訪れるリピーターの方をふやすなど、大会を大成功させるため全身全霊でさまざまな取り組みを加速してまいりたいと考えております。委員の皆様におかれましては、引き続き御支援・御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本日は、各部局の取り組み状況などにつきまして担当課長から説明しますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○池田和貴委員長 ありがとうございます。

続けて、執行部出席職員の自己紹介をお願いいたします。

（寺野国際スポーツ大会推進部長～春日警備第二課長の順に自己紹介）

○池田和貴委員長 自己紹介も終わったようでございます。

1年、このメンバーで審議してまいりますので、よろしく願いいたします。

それでは、議事に入らせていただきます。

お手元に配付しております本日の次第に従い、まず執行部から一括して説明を受け、その後、質疑は議題ごとに行いたいと思いません。

なお、委員会の運営を効率的に行うため、説明につきましては着座にて簡潔をお願いいたします。

それでは、議題1、2019女子ハンドボール世界選手権大会熊本開催に関する件について、説明をお願いいたします。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 国際スポーツ大会推進課の坂本でございます。

まず、議題1の、2019女子ハンドボール世界選手権大会熊本開催に関する件につきまして、御説明いたします。

1ページの、1、大会概要をごらんください。

下段の左側の表の下から3枠目、北中米選手権枠のキューバと、一番下の枠のヨーロッパ大陸最終予選の9カ国が今月決定され、参加24チームが出そろいました。

その右の表は、前回大会順位及び現在の世界ランキングでございます。

次に、2ページをごらんください。

大会のマッチスケジュールでございます。

予選ラウンド7日60試合、メインラウンド、決勝ラウンド6日36試合で、合計13日96試合が行われます。

会場ごとの試合日数及び試合数は、右下の参考2のとおりとなっております。

続きまして、3ページをごらんください。組み合わせ抽選会でございます。

参加24チームを、予選ラウンドの4グループに振り分けるものでございます。

今週末21日に、東京・銀座の観世能楽堂で開催されます。

右側の出席者に記載しておりますとおり、国際ハンドボール連盟会長、日本ハンドボール協会会長、知事、開催3市の市長、大会出場国の連盟、在日大使の皆様など約200名の御出席を予定しております。県議会からも、井手議長、当特別委員会の池田委員長が御出席の予定でございます。

その上の「目的」の2段目にありますように、大会の優勝トロフィーや入賞メダルの披露も行い、国内外に大会の開催をアピールすることとしております。

なお、一番下の「その他」にありますとおり、組み合わせ抽選会で予選ラウンドの4グループへの振り分けの後、各試合の会場や開始時間は、6月末に国際ハンドボール連盟が決定・発表される予定となっております。

次に、4ページをごらんください。

チケット販売についてでございます。

下段の表(1)チケット販売概要をごらんください。

現在、②のオフィシャルサイト及び③のプレイガイドでの先行先着販売を行っております。

日本代表おりひめジャパンにちなみ、7月7日・七夕の日から、④の一般先着販売を開始いたします。マッチスケジュールも決まることから、ここからチケット販売を本格化してまいります。

次の、下のほうの5ページをごらんください。

チケットの料金表でございます。

左上の一日券の場合、一番下の枠のA席前

売り1,000円から、一番上の枠の、決勝戦S席前売り8,000円までの料金などとなっております。

次に、6ページをごらんください。

5、大会ボランティアについてでございます。

昨年の第1期募集では、831人の方に応募いただきました。

内訳は、表にありますとおり運営スタッフ、語学スタッフがほぼ同数、女性が約3分の2となっております。幅広い年齢層の方から、御応募をいただいております。

現在、第2期の募集を実施中でございます。700人以上の応募を目指し、全体で1,500人から2,000人を目標としております。

次に、その下の7ページ、6、会場整備についてでございます。いずれの会場も、大会開催に向けて着実に整備が進んでおります。

表の下に、主な整備の写真を掲載させていただきます。

続きまして、8ページをごらんください。

5つの会場の概要といたしまして、建物の外観及び現時点での会場内のイメージ図、そしてその下に収容人数、観客席数を掲載しております。

収容人員と観客席数の差は、消防協議やカメラ台設置等により、席が設置できない部分があるためでございます。

次に、その下の7、地域交流についてでございます。

これにつきましては、各国選手や海外からの観戦者の方と県民との交流の機会を創出し、それがレガシーとして引き継がれていくよう、取り組みを推進してまいります。

次に、下の9ページをごらんください。

文字が小そうございますが、誘客計画でございます。

上の表が、入場者数目標と観戦者数目標でございます。左側に、黄色の枠で囲っております。

観戦者数目標は、1997年男子大会の約29万人を上回る30万人としております。

一番左の列が入場者数目標①で、合計が一番下でございます21万6,500人としております。これに、その右の列の1人当たりの観戦試合数②をそれぞれ掛けまして、観戦者数目標③30万人を設定しております。

この表の一番右の列に、区分ごとの誘客方針を記載しております。この中で、上から3枠目の学校観戦につきましては、県教育委員会のリードによりまして、熊本市、私立学校の協力も得て、既に8万人を上回る観戦希望をいただいているところでございます。

県外、海外につきましても、旅行会社や競技団体と連携した誘客を進めております。

商工会議所等、経済界の皆様などにも御協力いただくこととしており、オール熊本で盛り上げを図ってまいります。県議会におかれましても、引き続き御協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

次に、左下の表は、会場ごとの観戦者数目標、右下の表は、地域ごとの入場者数目標を整理しております。約9割を、熊本市内の3会場の観戦者と見込んでおります。熊本市、八代市、山鹿市などと、しっかりと連携しながら取り組みを進めてまいります。

次に、10ページをごらんください。

9、ファンゾーン計画でございます。

各会場の外に赤枠のイメージで、ファンゾーンを設ける予定としております。また、会場内にも、できるだけスペースを確保することとしております。その中で、県産品のアピールも積極的に行えるよう準備を進めているところでございます。

次に、下の11ページをごらんください。

10、一般観客等交通輸送実施計画でございます。

一番上に、輸送方針として、一人でも多くの観客に会場に足を運んでいただける、円滑な輸送体制を整えることなどを掲げておりま

す。

その下の図から次の12ページにかけて、会場ごと、交通手段ごとに、観客の会場までの輸送計画を記載しております。

12ページの下を表をごらんください。

学校応援バスにつきまして、円滑に運行できますよう計画的に準備を進めているところでございます。

下の13ページ左側は、メディア関係者の輸送計画図を記載しております。

熊本市桜町のバスターミナルを中心に、5会場へのバスを運行する予定としております。

このページの右側には、試合当日の混雑緩和等のため、会場までのアクセス方法や交通規制内容を事前告知する交通広報計画を記載させていただいております。

次に、14ページをごらんください。

11、選手団及び大会役員等に係る宿泊実施計画でございます。

選手団等の大会関係者が良好なコンディションで大会に臨めるよう、適切な配宿、食事サービスの提供を行うとともに、熊本の食材を使ったメニューの提供やエクスカッションなどを実施し、熊本の魅力を発信することとしております。

宿泊施設の確保につきましては、各選手団のホテルは熊本市内を中心とした8ホテルに配宿し、また決勝トーナメントの上位12チームは、できる限りホテルを集約して配宿することとしております。

そのほかIHF代表団のホテル、VIP等ホテル、メディア用ホテルを確保し、一般観客用ホテルにつきましても、情報提供を行うこととしております。

議題1につきましては、以上でございます。

○池田和貴委員長 次に、議題2 ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件につ

いて、説明をお願いいたします。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 議題2の、ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件について御説明いたします。

16ページをごらんください。

まず、1、大会概要でございます。

全44日間、全国の12会場で開催されます。

一番下(4)に、予選組み合わせを記載しております。

下の17ページの上段に、熊本で開催される2試合を記載しております。

その下の、2、チケット販売をごらんください。

3月31日まで、第2次一般先着販売が行われました。

販売状況の詳細は公表されておきませんが、熊本会場の売れ行きもおおむね好調と聞いております。

図に記載しておりますとおり、チケット販売総数は約180万枚で、東京の組織委員会とワールドラグビーが約90万枚ずつ販売することとなっております。既に約130万枚が販売済みとなり、現在7月下旬までの第3次一般先着販売が行われております。

8月から、第4次一般先着販売が行われる予定でございます。

次に、18ページをごらんください。

熊本会場関係のチケットなどについて記載しております。

その下のほうに、3、チームによる2回目の実地視察として、熊本市で公認チームキャンプを行う4チームの視察状況を掲載しております。

次に、その下の19ページをごらんください。

4、ボランティアについてでございます。

(1)採否結果にありますとおり、全国で約1万3,000人、熊本会場で約500人が採用となっております。

(2)にありますとおり、大会開催に向けまして、順次研修が行われることとなっております。

次に、5の地域交流計画関係でございます。

県と熊本市が共同して、熊本で試合を行うフランス、ウェールズ、トンガ、ウルグアイとの交流計画を策定し、事業に取り組んでおります。

最近の取り組みといたしまして、一番下の(1)トンガの駐日大使来熊、次のページにいきまして20ページ、(2)フランスの在日大使館一等書記官来熊による交流事業を実施しております。

その下の(3)に、今後の交流事業の予定を記載させていただいております。

次に、下の21ページをごらんください。

6、会場整備についてでございます。

大会開催に向けまして、着実に整備を進めております。

皆様に御心配をおかけしました、4の2面目の大型スクリーンにつきましても、先ほど部長からございましたように、今月末に完成予定となっております。

次に、22ページをごらんください。

7、誘客計画についてでございます。

まず、今後の取り組みの方向性についてでございます。

現在、販売中の第3次一般販売や8月からの第4次一般販売においては、ワールドラグビーが海外で販売している割り当てのハンドバック分の販売が中心となる見込みです。

2段落目に記載しておりますとおり、カテゴリーA席、B席は比較的高価なため、ラグビーのコアファンや経済界等に対して、さらに購入の協力を依頼し、2試合ともフルスタジアムの早期実現を目指してまいります。

次に、23ページをごらんください。

8、ファンゾーン計画でございます。

会場は、熊本市内の花畑広場及びシンボル

プロムナードでございます。開幕日の9月20日から、熊本で2試合目が行われる10月13日までのうち、15日間の開設を予定しております。

なお、左下の表にありますように、熊本で1試合目が行われる前日の10月5日から毎日開設する予定としております。

その右側が、ファンゾーンのイメージ図でございます。

次に、24ページをごらんください。

花畑広場及びシンボルプロムナードにおける、会場レイアウトの予定図でございます。

10月2日までの前半は花畑広場のみに開設し、10月5日からの後半はシンボルプロムナードも使って開設する予定としております。

それぞれの図の下に記載しておりますように、いずれもパブリックビューイングや県内の伝統芸能の披露などのステージイベントなどを予定しており、フランス、ウェールズ、トンガ、ウルグアイの御当地グルメや、県産品を使用した飲食物の試食・試飲を予定しております。

右側の後半におきましては、県、熊本市の観光、物産のPRブースも出店する予定となっております。

次に、その下の25ページをごらんください。

9、観戦客等交通輸送実施計画でございます。

左側に基本方針と対応策を記載しており、チームや大会関係者、約3万人の観客の方々を円滑かつ安全に輸送するため、下の対応策にありますように、(4)交通規制等の実施や、(5)交通事前広報の徹底等に取り組んでまいります。

右側の図は、交通手段ごとの観客の会場までの輸送体系図でございます。

次の、26ページをごらんください。

県内各輸送拠点から、試合会場までの輸送ルートを記載しております。

その下の、27ページをごらんください。

会場周辺道路の規制、及び駐車場利用計画を記載しております。

タクシーにつきましても、図の左端の中央に記載しておりますように、乗降所を設置する予定でございます。タクシー協会にお願いいたしまして、300台程度を配置いただきたいということで、現時点でお願いをしております。

次に、28ページをごらんください。

10、今後の主なスケジュールでございます。

この中で、7月20日、3つ目のポツですが、7月20日に、ジャパンラグビートップリーグカップ2019「復興絆マッチ」及び「ラグビー祭り」の開催を予定しております。詳しくは、後ほど説明させていただきます。

議題2につきましても、以上でございます。

○池田和貴委員長 次に、議題3 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件について、説明をお願いいたします。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 続きまして、議題3の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件について、御説明いたします。

まず、29ページをごらんください。

1、大会概要として、(1)東京オリンピック、その下の(2)東京パラリンピックの概要について記載しております。

次に、30ページをごらんください。

2、東京オリンピックチケット販売でございます。

上段の右側に、チケット販売スケジュールを記載しております。6月20日に抽選申し込みの結果の発表が行われる予定でございます。ことし秋以降に、先着順販売が開始される予定となっております。

なお、左側の表の観戦チケットの枠の下段にありますように、来年の春以降、公式販売サイトに加え、東京都内にチケット販売所が設置される予定ということで伺っております。

31ページをごらんください。

31ページの一番上のほうに記載させていただきましたように、公式販売サイトでチケットを購入される際には、ID登録が必要となっております。

チケットの価格は、開閉会式のチケットが1万2,000円から30万円、競技の一般チケットが2,500円から13万円で、半分以上のチケットが8,000円以下で購入可能ということになっております。

次に、その下のキャンプ地の誘致についてでございます。現在の誘致状況を表にまとめております。

熊本県と熊本市が決定しており、八代市、菊池市及び玉名市におきまして交渉中となっております。県としましても、各市の誘致を支援しております。

次に、32ページをごらんください。

4、選手育成に関することについてでございます。

(1)オリンピック選手育成事業につきましては、体育保健課、次の33ページの(2)、パラリンピック選手育成・強化推進事業につきましては、障がい者支援課において取り組みを進められております。

上のほうのオリンピックにつきましては、ことし5月に県内競技団体から推薦された選手から、29人を育成指定選手に指定されておられます。

パラリンピックにつきましては、8人程度の指定が予定されており、今月中に強化指定選手を決定される予定でございます。

次に、34ページをごらんください。

5、機運の醸成に関することでございます。

スポーツ庁の委託事業として、事業概要にありますとおり4つの事業を展開することとされておられます。

次に、35ページをごらんください。

6、聖火リレーについてでございます。

実施期間は、3月26日から7月24日で、本県は5月6日、7日となっております。

聖火リレーの実施に向けて、各都道府県で実行委員会を設立することとされまして、本県では昨年8月に知事を会長、県議会議長を副会長としまして設立をしております。そこで、全国共通のコンセプトに加えまして、一番下に記載しております熊本県内の聖火リレールート選定方針が決定されました。

次に、36ページをごらんください。

今月1日に、東京の組織委員会から、全国の聖火リレー実施市町村や聖火ランナー募集概要等が発表されました。

県内のリレー実施市町村は、1日目の5月6日が県南地域を中心とし、翌7日が県央、県北地域の全13市町村となっております。

聖火ランナーの募集要件は、下段左側に記載のとおりでございます。13歳以上の年齢になる人、各都道府県にゆかりのある人などとなっております。

応募先、選定人数は、その右側の表にありますように、スポンサー枠、県実行委員会枠などの区分がございます。1日当たりのランナーは80から90名で、各都道府県の実行委員会には1日当たり22名の割り当てがっております。

37ページをごらんください。

本県の聖火ランナー選定につきまして、記載しておりますとおりでございます。2日で44人のうち、③に記載しておりますとおり、本県としては30から35人程度を公募により選定し、著名人のPRランナーなどの推薦も活用することとしております。

募集期間は、7月1日から8月31日まで、応募方法は特設サイトから申し込むか、県

庁、市町村役場等に設置予定の応募用紙に記載の上、指定の申込先に郵送いただくこととなります。選定結果は、12月以降に組織委員会から当選者へ通知される予定でございます。

議題3については、以上でございます。

○池田和貴委員長 次に、議題4、国際スポーツ大会の成功に向けた取り組みに関する件について、説明をお願いいたします。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 引き続きまして、説明させていただきます。

議題4の、国際スポーツ大会の成功に向けた取り組みに関する件について、御説明いたします。

38ページをごらんください。

1、国際スポーツ大会推進部の取り組みについてでございます。

まず、ア、2つの国際スポーツ大会に向けたさらなる機運醸成、盛り上げに向けた取り組みについてでございます。

①目的に記載しておりますように、ラグビー6万人、女子ハンドボール30万人の観戦者目標達成のために、誘客戦略を強力に推進し、県民や熊本に来られる方が、熊本の大会はよかったと満足できる大会となるよう、さらなる機運醸成、盛り上げを図ってまいります。

また、大会の成功に合わせまして、広く県内に経済効果を波及させるための取り組みも加速してまいります。

具体的な取り組みにつきましては、ちょっと字が小さございますが、このページの右下の図、広報誘客の活動方針をごらんください。

円滑な運営としまして、メディア対応やテレビ放映、大成功への取り組みとして、カウントダウンイベントや都市装飾など、観戦者数目標の達成としてチケット販売や旅行商品

造成を加速してまいります。

その下の39ページに、ハンドボール、ラグビーの順に取り組みのスケジュールを記載し、あわせて参考といたしまして一番下に、オリンピック・パラリンピックのスケジュールを記載させていただいております。

次に、40ページをごらんください。

大会を成功に導くための、おもてなしの展開についてでございます。

①の趣旨に記載しておりますとおり、熊本を訪れる国内外の方々に、また熊本を訪れてみたいと感じていただけるような熊本らしいおもてなしの取り組みを県民一丸となって展開していきたいと考えております。

④具体的な進め方としまして、次の下のほうの41ページ右側の表2に記載しておりますように、各種団体、個人等に協力をお願いしております。ボランティア団体、農業団体、各種学校、商工会議所、公共文化施設、交通関係協会、商店街、社交飲食業組合など、さまざまな団体、個人に現在、協力依頼を行っているところでございます。

次に、42ページをごらんください。

ウ、大会の成功に向けた庁内の連携について記載させていただいております。

大会で目指します3つの成果、①円滑な大会運営、②観戦者数目標の達成、③レガシーの構築の実現に向けまして、県庁一丸となって取り組みを推進しております。

次に、その下の43ページをごらんください。

(2)機運醸成に向けた取り組みの最近の具体例といたしまして、「hummel」との覚書締結について記載しております。

「hummel」は、デンマークに本社がある世界的スポーツメーカーで、国際ハンドボール連盟のパートナー企業でございます。日本では、野球用品等のスポーツ用品メーカー「エスエスケイ」が、製造販売元となっております。

次に、44ページをごらんください。

イ、各種広報PR活動の最近の具体例でございます。

著名人の方々や民間企業、県内テレビ局などの協力を得まして、取り組みを推進しております。

次に、45ページをごらんください。

ウ、ラグビートップリーグを活用した機運醸成についてでございます。

先ほど申し上げましたように、7月20日に、えがお健康スタジアムにおきまして、ジャパンラグビートップリーグカップ2019「復興絆マッチ」が開催されます。コカコーラレッドスパークス対釜石シーウェイブスの試合でございます。

ワールドカップ開幕まで残り2カ月前の節目に当たることから、熊本での大会開催へのさらなる機運醸成を図りたいと考えております。

地震からの復興関連の取り組みとしまして、釜石市との連携や熊本地震の被災者の方々を招待するなどの取り組みを予定しております。

なお、ここには書いてございませんが、広く県内各地の方々に観戦いただけるよう、各地域振興局発着の無料バスの運行も予定しております。

最後に、46ページをごらんください。

エ、熊本国際スポーツ大会実行委員会担当責任者会合の開催についてでございます。

①趣旨に記載しておりますように、国際スポーツ大会の成功に向けた県内の機運醸成を図るために、知事を発起人として発足しました実行委員会の事務担当者等に参加いただき、さらなる機運醸成のための協力支援を依頼することとしております。開催日は7月4日で、対象約280団体から150から200人程度の参加を予定しております。

当課の説明は、以上でございます。

○波村国際課長 私からは、海外からの誘客の取り組みについて説明いたします。

資料47ページをお願いいたします。

まずは誘客のターゲット国でございますが、ラグビーはフランス、ウェールズ、オーストラリア、ニュージーランド。女子ハンドは、フランス、ドイツそしてノルウェー等の北欧諸国、そして韓国でございます。

次に、誘客の方向性としては、FIT対策に重点を置きつつ、現地旅行会社への旅行商品造成やくまモンを活用するなど、熊本県そのものの認知度アップに向けた働きかけを行うこととしております。

続きまして、これまでの取り組みについて説明いたします。

48ページ以降に記載しております主な取り組みについて説明いたします。48ページをお願いいたします。

まず、FIT対策の情報発信でございます。

これまで関係機関と連携しながら、メディアやブLOGGERなどとの活用、ホームページやSNSによる情報発信に取り組んでおります。

前回委員会以降の主な取り組みでございますが、一番は熊本市との連携事業で、欧米、豪向けの観光PR動画を制作し、配信を行っております。県版は阿蘇の火口、イルカウォッチング、ラフティングや温泉、球磨焼酎などを紹介しております。

熊本市版は、熊本市繁華街のさまざまな顔を持つ路地裏をテーマに、熊本城や熊本の食文化を紹介する動画となっております。現在、220万回ほどの再生を記録しているところでございます。

次の2番でございますが、ANAの協力により機内誌の「WINGSPAN」で熊本城の写真を掲載いただいております。

49ページをお願いいたします。

プロモーションとセールスでございます。

これまで、関係機関と連携して、イギリス、フランス、北欧などのプロモーションやセールスを実施しております。

前回委員会以降の主な取り組みでございますが、3番は5月18日に観光庁長官をお招きして国際スポーツ大会の機運醸成として、講演会を開催しております。観光事業者や行政関係者300人が参加しております。

4番ですが、オーストラリア及びニュージーランドの旅行会社への観光PRと商談会を開催しております。

次に5番ですが、フランスのオフィシャルトラベルエージェントであるクラー社を招請してファムツアー、いわゆる視察ツアーを実施しております。10月6日の試合に合わせてクラー社は熊本で250人規模のツアーを予定しております。

50ページをお願いいたします。

団体旅行対策でございますが、これまでイギリス、フランスでのオフィシャルトラベルエージェント、政府関係機関へのプロモーション、九州合同のレセプション、Japan Expoへの出展、団体向けツアー造成支援などに取り組んでおります。

次に、受入環境整備でございます。

これまで、多言語コールセンターやキャッシュレス決済の情報等を提供する受入環境整備の説明会の開催や、多言語表示、Wi-Fi整備、トイレの洋式化を促進する取り組みを行っております。

前回委員会以降の主な取り組みですが、6番「くまもとフリーWi-Fi」の整備状況でございますけれども、3月末時点で366施設1,015アクセスポイントが整備されております。

次に7番でございますが、多言語コールセンターについては、今年度から医療機関の窓口での利用や警察への問い合わせへの対応が追加されております。

続きまして、53ページから今後の予定につ

いて掲載しております。

53ページをお願いいたします。

まずは、FIT対策の情報発信でございます。

2番でございますが、デジタルマーケティングによる情報発信でございます。

動画配信等により認知度向上を図るとともに、データの収集分析によるターゲティングなど、より効率的・効果的な情報発信に取り組むこととしております。

4番から6番にかけては、スポーツ大会の開催前、期間中、開催後の取り組みを掲載しております。

まず4番でございますが、開催前の対策として、ターゲット国のエージェント、メディアと連携して、大会及び観光情報の情報発信を行う予定としております。

5番は、大会期間中の取り組みでございます。スポーツ大会で本県を訪れた観光客に、観光地や飲食店の情報を、SNSでハッシュタグを付けて情報発信していただくためのキャンペーンを企画予定でございます。

6番は、大会開催後そしてオリンピック・パラリンピック対策といたしまして、インフルエンサーによる情報発信を実施する予定でございます。スポーツ大会の取材で本県を訪れるメディアを対象に視察ツアーを実施し、各国に情報発信をしていただくことにしております。

54ページをお願いいたします。

8番でございますが、観光ビジネスチャレンジ支援事業として、民間事業者が取り組む新たな観光商品やメニューの開発支援を行うこととしております。

次に9番ですが、ラグビーワールドカップ期間中のイベント民泊事業でございます。イベント期間中の宿泊施設の不足に対応するため、イベント民泊を実施する予定としております。

次に10番でございます。

祭りアイランド九州として、本年9月28日から29日にかけては、九州・山口の祭りが、ここ熊本に集結するイベントが開催されることとなっております。

次に、57ページをお願いいたします。

参考ではございますが、国内誘客対策として熊本デスティネーションキャンペーンを活用したPRやハンドボールのチケットを組み込んだ旅行商品の開発・販売を行うこととしております。

最後に、58ページをお願いいたします。

県産品のPRについては、県の物産館において外国人をターゲットにした特設コーナーの設置、ファンゾーンにおいては、先ほども御紹介ありましたけれども、県産品の展示販売を行う県ブースを設置することとしております。

以上、国際スポーツ大会に向け、観光客の誘客や受入環境整備、そして熊本の魅力発信に努めていくこととしております。

私からの説明は、以上でございます。

○渡邊農林水産政策課長 農林水産政策課でございます。

資料は、下の59ページでございます。

県産食材等の供給に向けた取り組みのうち、主なものを御説明申し上げます。

まず、アの県内開催国際スポーツ大会に向けた取り組みでございます。

①のとおり、女子ハンドボール日本代表激励会等の会場におきまして、県産農産物のPR等を行ったほか、右下の写真でございますが、地産地消フラッグを作成いたしまして、県内の販売店、飲食店、選手団の宿泊予定ホテル等の地産地消協力店の全店舗に配布をいたしております。

次のページ、60ページをお願いいたします。

④でございます。県産畳表を使用した畳ベンチの増設・張りかえといたしまして、県内

の空港、駅等全46カ所について、畳ベンチの増設・張りかえを実施いたしました。

今年度の取り組み予定といたしましては、中段以下の①ファンゾーンへの県産食材等のPRブースの出展、②歓迎パーティー等での「くまもとテーブル」の設置や、大会の開催時期に合わせた地産地消協力店による地産地消フェアの開催、③生花を利用いたしました装飾によるおもてなし等を実施してまいります。

下のページをお願いいたします。

いの、東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みでございます。

これまで、②にありますとおり、食材としての採用に向けました各種の認証取得に係る取り組みを支援してまいりました。

特に、熊本県版GAP認証制度につきましては、2017年8月に創設したところでございますが、その下でございます。県内で454の経営体で認証されているところでございます。

次のページをお願いいたします、62ページでございます。

中段以下の今後の取り組みでございますが、県産農林水産物の供給実現に向けまして、引き続き飲食提供業者等への売り込みPRを実施してまいります。

特に熊本県版GAPにつきましては、調達基準を満たす品目と生産量の拡大の推進を目指しまして、1,000経営体の認証を目標に推進してまいります。

また、選手村のビレッジプラザには、県産木材を本年の8月に納材予定であります。

農林水産政策課からは、以上でございます。

○上野健康危機管理課長 健康危機管理課でございます。

資料63ページをお願いいたします。

国際スポーツ大会に係る食中毒、感染症

等、衛生に関する取り組みについて、令和元年度の取り組みについて御説明申し上げます。

まず、①の食中毒の未然防止に係る取り組みについてでございますが、「大規模イベント向け食品衛生の手引き」を作成いたしまして、宿泊施設や弁当調整施設等食品関係施設に配布し、食品の取り扱いについての注意喚起を図ってまいります。

今年度は、全国高校総体が国スポの前に開催されますので、既に宿泊施設に対する指導は開始しているところでございます。

また、大会事務局と連携しまして、県の衛生対策方針として熊本県食品衛生対策実施要領を作成し、選手宿泊施設を中心に立入検査や指導を行うことにしており、こちらにつきましても山鹿、八代を含め県内の宿泊施設への立ち入り、拭き取り検査や食品の微生物検査など、既に開始しているところでございます。

次に、②の感染症の蔓延防止に係る取り組みについてでございますが、大会開催に伴います交流人口の増加に備えまして、特に感染拡大リスクが高い麻疹や風疹の抗体検査、予防接種を勧奨するチラシを作成し、観光事業者を中心に注意喚起を行い、観光事業者の感染防止、さらには事業者からの感染拡大防止を図ることにしております。

そのため、熊本県旅館ホテル生活衛生同業組合の各支部総会や県観光連盟に注意喚起のチラシの配布やメールの一斉送信を依頼しているところでございます。

また、飲食業などの事業者に対しましては、食品衛生協会を通じまして注意喚起を図っていく予定にしております。

次に、③の健康危機発生に備えた体制整備についてですが、まず、大会事務局と連携いたしまして、健康危機発生情報の共有、迅速な対応を図るために緊急連絡網の整備を図ります。これは、もう既に整備済みでございます。

す。

さらに、輸入感染症の患者発生を想定した患者の搬送訓練や、関係医療機関を含めました県下一斉の訓練を、昨年度に引き続きまして今年度も大会開始前に実施することにしております。

また、県と熊本市の検査部門の合同の検査実施訓練も、昨年に引き続きまして今年度も実施する予定にしております。

最後のサーベイランス体制の強化についてですけれども、これは万が一原因不明の感染症の疑いのある患者が発生した場合に、診察した医療機関から保健所に直ちに届け出をしていただく体制を整備したもので、県内10カ所の感染症指定医療機関に加えまして、熊本赤十字病院、国立熊本医療センター、熊本地域医療センター、熊本中央病院、熊本労災病院を加えました15の医療機関に既にお願いをしているところでございます。

健康危機管理課の説明は、以上になります。

○弓削都市計画課審議員 土木部都市計画課でございます。

資料の64ページをお願いいたします。

(4)国際スポーツ大会に係る土木部の取り組みについて説明いたします。

土木部では、おもてなしグリーンプロジェクト等により、ことしの国際スポーツ大会を見据え、平成28年から本年までの4カ年計画で、沿道景観など魅力向上を図っております。

これまでの取り組みとして、沿道景観に配慮した植栽などの改善を行っております。写真は、第二空港線の状況をお示ししておりますが、空港やインターチェンジなどの交通拠点と、大会開催地や主要観光地を結ぶ幹線道路において、植樹帯の低木を地被類に植えかえることなどにより、沿道景観の向上を図っております。

また、下の写真のように路側等についても、防草シール材による雑草防止対策を行っております。

次に、65ページをごらんください。

大会開催に向けた公園施設の改善ですが、写真のとおり熊本県民総合運動公園内のラグビー場において、グラウンド面の樹木除去により、国際規格に合わせた広さを確保し、安全・安心な競技環境を整えるとともに、観客の視界確保を図っております。

今後も、大会開催時期に合わせて、引き続き取り組んでまいります。

土木部からは、以上でございます。よろしくお願いいたします。

○上塚教育政策課長 教育政策課でございます。

66ページをお願いします。

国際スポーツ大会に係る、教育委員会等の取り組みについて御説明いたします。

アの、競技の普及活動・情報発信等をごらんください。

①の、国際スポーツ大会競技普及事業、②の、ふれあいスポーツ事業につきましては、これまでに引き続きハンドボール教室、タグラグビー教室などを開催し、競技の普及を通して大会の盛り上げにつなげてまいります。

また③の、諸会議における情報提供につきましては、さまざまな機会を捉えて大会の基本情報やイベント等の紹介を行ってまいります。

67ページをお願いします。

イの、一校一國運動の取り組みをごらんください。

今年度は、一校一國運動の3本柱である、1の大会事前事後学習、2の交流学习、3の応援国学習に力を入れて取り組んでまいります。

主な取り組みについて、①の教育委員会チーム会議につきましては、教育委員会各課、

私学振興課が連携して取り組みを進めるため、定期的に関係し情報共有を図っております。

68ページをお願いします。

③の、DVDの制作と配付につきましては、公立、私立全ての学校に対し、これまで2回制作・配付しました。

大会後は、振り返り版を制作・配付し、事後学習での活用を想定しています。

69ページをお願いします。

⑥の、女子ハンドボール世界選手権大会学校観戦につきましては、公立、私立全ての学校に対し、学校観戦観戦者調査を実施しました。現段階では、目標を上回る希望をいただいております。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○春日警備第二課長 県警から御説明いたします。

国際スポーツ大会開催に伴う県警の取り組みについてです。

資料は、70ページ、71ページとなります。

70ページが、これまでの取り組み、71ページが今後の取り組みとなっております。

特に申し上げますのは、②のテロ対策パートナーシップ推進会議くまもとによる、官民連携した活動といたしまして、官民連携によるテロ対策につきまして、JR熊本駅やアクアドームくまもとにおきまして、消防、日赤また施設関係者と合同による不審者対応訓練、爆弾テロ対処訓練を実施し、練度の向上、連携強化を図りました。これは、写真の右側でございます。

それと、⑥の繁華街対策の強化といたしまして、本年3月に警察本部生活環境課内に繁華街特別対策室を設置するなど、体制を強化しております。

また、客引き防止対策のため、4カ国語、日本語、英語、中国語、韓国語のポケットテ

ィッシュを作成し、宿泊施設等で配布しております。

今後の取り組み予定といたしまして、①安全・安心な大会開催に向けた警備対策といたしまして、今年度当初予算として承認いただきました関係資機材購入予算を執行し、順次購入手続を進めております。

中でも、テロ等防止のための車両突入阻止資機材について、既に購入手続を終了しました。

また、テロ防止啓発動画を作成中でありまして、完成しましたら街頭ビジョン等で放映する予定としております。

また、⑥の繁華街対策の強化といたしまして、本年4月1日に施行された熊本県風俗案内業の規制に関する条例、及び熊本市客引き行為等の禁止に関する条例など、あらゆる法令を活用した取り締まりを強化するとともに、関係機関・団体と連携した繁華街対策を強力に推進していくこととしております。

以上です。

○池田和貴委員長 以上で執行部からの説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。

冒頭お話ししましたように、質疑は議題ごとに行いたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず、(1)の2019女子ハンドボール世界選手権大会熊本開催に関する件について、何かございませんでしょうか。

ないようですので、次に……済みません。松野委員どうぞ。

○松野明美委員 女子ハンドボールで、宿泊先から現場まで、1年くらい前には1時間ぐらいかかるんじゃないかと、山鹿とか八代のほうはと、お聞きしたんですけど、計画的には大体どれくらいかかりますか。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 熊本市内から山鹿市につきましては、できるだけ熊本市内の北にあるホテルに宿泊していただく予定にしております、35分から40分ぐらいで山鹿市に到着できるのではないかと考えています。

ただし、八代市につきましては、熊本市内の中心から八代市まで、おおむね1時間ぐらいかかると見込まれておまして、それにつきましてできるだけ円滑に輸送ができますよう、警察等と協議を進めながら、円滑な輸送とそれから快適に移動していただくよう、快適なバスを用意したり、バスの中に無料Wi-Fiを設置するなどの対策を検討しているところでございます。

○松野明美委員 片道1時間ですよ。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 はい。

○松野明美委員 試合のときの片道1時間というのは相当、選手にとっても疲労がたまると思いますか、日本人選手はよく寝ている選手がいるんですけど、外国人選手は風景を眺めながらリラックスして移動している選手も多いんです。ちょっと長いかなという感じはするんです。どうにか30分ぐらいでというのが希望ではあるんですけど、やはり試合がありますからね。八代のほうはですね。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 ホテルと会場につきましては、IHF国際ハンドボール連盟のさまざまな基準がある中で協議をさせていただいて、熊本市内に宿泊をして、会場は5会場ということになっております。

ただ、松野委員おっしゃるとおりの課題もございまして、これにつきましては、八代の会場周辺の練習施設を準備するとか、会場周辺の宿泊施設にダイユースで休憩していただけるような態勢を整えるといったことを調

整しているところでございます。

○松野明美委員 女子の選手は、特にトイレの回数が、男性選手に比べて多いような気がするものですから、そのところを検討していただきたいと思います。

もう一つ。

○池田和貴委員長 はい。

○松野明美委員 食事ですけど、食事は特に試合中というのはどのような形に、説明はありましたけど、もう一度お願いしていいですか。選手の食事の環境ですけど。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 選手の食事につきましては、試合がある日につきましては、3回に加えましてもう1食提供することとなっております。試合が遅く終わった場合でも、ホテルで食事を提供するように体制を整えております。

○松野明美委員 スポーツ選手は皆さんそうですけど、よく食べるんです。食事は、外国人選手の方たちは、部屋に持って帰って食べる方が多いんです。ストレス解消とかもあると思うんですけど、そういうようなところでケータリングのような方法というのも考えていらっしゃるのでしょうか。よくバナナとかそういう果物をリュックの中に入れて部屋に帰られたりするような選手もよく見かけるものですから、そのあたりを聞かせていただければ。ケータリングといいますか、持って帰ってはだめだよとか、そういうような指示もあるのでしょうか。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 今のところ一応、食事の場所は、各ホテルの中で決まった場所を、それぞれの選手が食べられるだけのスペースを確保して提供するようにして

おります。試合会場では、試合のときに食べられるようなケータリングも予定はしております。

ただ、部屋に帰って、持って帰って食べられるような体制につきましては、また調整してまいりたいと思います。

○松野明美委員 特に試合が終わった後とか、やはり開放するものですから、ほかの選手の皆さんは夜に、ちょっと食堂から持って帰ったパンを食べたりしている様子も見かけたことがあるものですから、もしよかったらそういうところの決まりといたしますか、そういうところはちゃんと伝えていただいたほうが、恐らく何かいろいろと問題が出てこないのではないかなど。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 各チームの皆様には、事前にインフォメーションを送付することになっておりまして、宿泊施設での食事、あるいは洗濯物の取り扱い、周辺の観光情報、ショッピング情報とか必要な情報は事前に、一冊の本等にしまして提供することとしておりますので、その中に書き込んでまいりたいと思います。

○松野明美委員 世界大会のレベルになりますと、大体24時間いつでも食べられますよ、食堂に行ったら食べられますよというような体制が多いです。ホテルであれば時間も決まっていますし、そういうところで恐らく外国人選手の方々は、特に女子の選手は、バスの移動中にちょっと軽食を取りたいというような要望も恐らくあるのではないかなと思うんです。そのあたりは十分に配慮といたしますか気をつけていただきたいと思っています。

○池田和貴委員長 よろしいですか。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 各チーム

にリエゾンといたしますか、競技ができる、競技がわかる方と外国語ができるスタッフを2名ずつつけることとしておりますので、要望につきましては細かくフォローしてまいりたいと思います。

○池田和貴委員長 ほかにありませんか。

なければ次に、(2)ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件について、質疑はありませんでしょうか。

○高野洋介委員 きノウだったか、熊日新聞を見ていたら、キャンプの、あれは非公表にしろという話をワールドラグビーがしてきたという話なんですけれども、それについて説明してもらっていいですか。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 新聞に出ました件につきましては、日曜日でございますが、全国に一応電話での問い合わせで状況を確認されておりまして、確かに新聞に書かれておりますとおり、選手の安全性の確保の観点ですとか、選手が練習をするときに、その戦略ですとか外に出ないようにということで、ワールドラグビー及び組織委員会からオープンにできないというような話はきておりますが、本県としましてもできるだけ、せっかく世界レベルの選手の方々に来ていただきますので、県民とふれあう機会を設けることができるようにという要請はしております。また、あわせて地域交流計画の中で、子ども達とふれあう機会とか県民の方々とふれあう機会を設けることができるようにという、取り組みにつきましては組織委員会を挟んで各チームとやりとりをさせていただいているところでございます。

○高野洋介委員 ここにあるように、もうキャンプ誘致自体は公表しているわけじゃないですか、熊本県にはこの国が来ますと。非公

表というのはその中身のことなのか、これ自体をもうなしにしろということなのか、私全然意味がわからなかったんです。そこをお願いします。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 わかりにくくて申しわけございません。

非公表と申しますのは、選手の宿泊施設ですとか練習拠点です。事前キャンプして、どこで練習をするとか、こういったことは公表してはいけないと言われていたところがございます。

○高野洋介委員 そういったところが、多分県民の方々の誤解を生んでいるところがあると思うので、そこはしっかり新聞社にもわかりやすく書くように抗議をするのか、また皆様方がどういう広報をされるのかわかりませんが、そこを1回整理されたほうがいいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 ありがとうございます。

○池田和貴委員長 ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○池田和貴委員長 なければ、次に(3)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件について、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○池田和貴委員長 ないようでございますので、次に(4)国際スポーツ大会の成功に向けた取り組みに関する件について、質疑はありませんでしょうか。

○橋口海平委員 2つの世界大会時に多数海外から来て、観光地を回るかと思えます。

そんなときに、例えば県立伝統工芸館は、朝9時から17時までの開館となっております

す。

ただ、これがどの時間が正しいかというのはわからないんですが、そういう時間を、例えば10時から18時にするとか、そういうことを考えているのかどうか、お聞かせいただきたいと思います。

○上田(哲)観光物産課長 観光物産課でございます。

現在、伝統工芸館の開館時間は条例で規定をされておりまして、9時から17時までとなっております。

ただ、条例の中には知事が特に認める場合ということで、例外的に時間の延長とかも可能になっているところがございます。

それで、昨年度から2つの国際スポーツ大会前に、例えばナイトタイムエコノミーですとか、少し時間の延長ということも視野に入れながら、伝統工芸では館時間ごと、朝の時間帯それから夕方の時間帯、どの時間帯に来館者が多いかとかいうふうな数字をとって分析を始めているところがございますので、延長の有無についても具体的な検討中という状況でございます。

それから、熊本城周辺で、熊本市の施設も含めまして大体7つ、県立美術館とか7つぐらいの施設がありまして、その会議体がございます。その会議体の中でも皆さん方の施設の延長の可否も含めて、何か連携してお出迎えができないかということでの検討も始めておりますので、そういうふうなものも含めまして、お客様をもてなすという観点から具体的な検討を進めていきたいというふうに考えております。

○橋口海平委員 ぜひ、海外から来た方が、そういった県の伝統なども見られるような体制づくりをお願いいたします。

○池田和貴委員長 ほかにありませんか。

○高野洋介委員 69ページと2ページの関連なんですけど、この間、八代市とのいろいろ意見交換の中で、一校一国運動に関しての話が出て、八代の場合、10試合ハンドボールのほうがあるわけでございますけれども、そのうちの2試合ぐらいに希望が集中しているんです。だから全然分散できてなくて、それで枠が決まっているわけですから、恐らく手を挙げたところみんなが行けないんです、2、3試合には。だから、そういったところをどういうふうに今教育委員会として調整されているのかお尋ねしたいんです。

○西村体育保健課長 体育保健課でございます。

現在、数的には8万人の希望を大幅に上回る状況でございますけれども、今先生御指摘のとおり、会場のキャパ等に、八代市あたりも非常にキャパが余り大きくない中に集中しているというのが現状でございます。

そういったところで、希望自体は第1希望から第5希望まで今とらせていただいている中で、国際スポーツ推進課と今打ち合わせをしながら、配置がえを第5希望までの中でうまく配置するように取り組んでいるところですが、まだ完全にできてないところでございます。

この後、大会の組み合わせ等も決まる中で、再度しっかりと話し合いながら進めてまいりたいと思っております。

○高野洋介委員 多分学校現場では土日を避けたい、夕方の試合を避けたいということ、言ってくるんです。だから、そういった意味で多分その2、3試合にしか集中しないということなんですけど、そこはしっかり学校現場には強く言わないと、このまま行ったら、じゃ土日は行きません、なら夕方も行けませんということで、せつかく手を挙げているのが手を挙げなくなるような形になる

のではないかなというのを危惧していますので、そこはしっかり現場と、それこそ教育事務所を通してでも、教育事務所がちゃんとハンドリングして、そこはちゃんと割り振りしていったほうがいいと思いますので、これからしっかり現場とも協議しながら、一人でも多くの生徒たちが現場に行き応援できるような形で取り組んでもらいますよう、よろしく願いいたします。

○池田和貴委員長 ほかに質疑ございませんか。

○城下広作委員 私も想像がつかないんですけども、試合中とかいろいろ選手も含めて、例えば観光客も含めた方たちが、たまたま風邪とかけがをすとか、いろんなことで医療機関に頼るような機会があったときに、県下の医療機関の大きいところでしょうけども、多言語で対応するというのは、これは結構大変なのかなという、そういう心配事というのは医療現場から上がることは何かあるんですか。患者に対するケアというのは。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 取りあえず、選手、役員についてだけ申し上げます。

選手、役員につきましては、先ほど申しましたように選手には各チームに語学のできる職員がついておりますので、医療機関、緊急に近くのところにおいてそういったことであれば、その職員が通訳をすとかいったこと、それから役員につきましても同じように、ある一定の職員数を役員に配置することにしておりますので、その職員が語学バリアについて対応することとしております。

観光客につきましても、ボランティア等によりインフォメーションセンター等に職員を配置することとしておりますが、これにつきましては健康福祉部とも連携をしながら医療機関等との連携が必要であると思っております。

す。

○波村国際課長 観光客につきましては、多言語コールセンターを昨年度から運用しておりますけれども、今年4月から医療も対象になりましたので、医療機関の担当者にかわって通訳が、症状とか聞くようにできるようになっておりますので、その多言語コールセンターの存在について周知を広めたいというふうに思っております。

以上でございます。

○城下広作委員 外国の旅先でどういう感じで、体調を悪くするかわからないし、どこに行ってもいいかわからないような感じで、問い合わせがあって、行った医療現場でもその言葉で対応できるか、いろいろ不安もあるでしょうし、それもおもてなしの一環だと思うし、しっかり考えていただきたいと思いません。

あと1点いいですか。

○池田和貴委員長 はい、どうぞ。

○城下広作委員 特に警察の方は、やはりいろんな方が来たりすると、想定しないようなことが起こったりとか、ましてや、きのうもああいう事件なんか、警察官自体がねられるという、決して外国人だけじゃなくて、日本の中で、国内の人が犯罪を起こすようなこともあり得るし、こういうときにこそ、逆に言えば便乗してというか、ある程度愉快犯みたいな人がいますので、ぜひ用心していただきたい。頑張ってください。

○平良警務課長 補足で御説明いたします。

今、城下先生からありました件につきましては、既に県内各署で警戒の強化をしております。

それから先ほどありました通訳の関係、こ

れは警察本部でも本年4月26日から多言語コールセンターを導入しております。17言語を24時間対応ということで、3者間通話も可能になっております。一時的な不測の事態にも対応できるような、それからまた部内の通訳要員、これも今回の国スポ大会に備えまして、いろんな現場を想定した模擬の訓練等も実施回数を重ねております。

いろんな形で、通訳を含め体制を整えつつ強化をしているところであります。

以上です。

○内野幸喜委員 済みません、ここではなかったのかもしれないんですけども、チケットのほうが好調だという話がありましたけれども、当然チケットを購入された方というのは、宿泊もある程度予約をされ始めていると思うんですが、その辺は今どんな状況なんですか。

○波村国際課長 海外からの誘客につきましては、目標数が1万2,000人ということです。非常に高い数字で、我々も気にしているところでございますけれども、幾つかの主要な施設に問い合わせましたところ、試合の開催日前後はおおむね客室が埋まっているというところで情報を得ています。

ただ、私も心配になりまして、10月6日と13日、いろんなサイトで見てみましたところ、10月13日ウェールズ戦は大分埋まっておりますけれども、10月6日は少しサイトから出ておりますので、そこら辺は動向を追いたいというふうに思っております。

ただ、ちょっと値段が高かったり、いろんな問題が出ているのかなというふうに思っておりますけれども。日々追っていきたく思っております。

○内野幸喜委員 大体ある程度の海外からのその応援、観戦者も既にもう予約が入ってい

るという認識でいいんですか。

○波村国際課長 はい。聞き取り調査ではございますけれども。

○池田和貴委員長 よろしいですか。はい。
ほかにありませんか。
なければ、質疑はこれで終了いたします。
次に、閉会中の継続審査についてお諮りいたします。

本委員会に付託の調査事件については、審議未了のため次期定例会まで本委員会を存続して審査する旨、議長に申し出ることにしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○池田和貴委員長 異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

次に、その他として何かございますでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○池田和貴委員長 はい。それでは、これをもちまして本日の委員会を閉会いたします。

お疲れさまでございました。

なお、委員の皆様には連絡事項がございますので、若干お待ちいただきますようお願いいたします。

午後2時18分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定により
ここに署名する

国際スポーツ大会推進特別委員会委員長